インフルエンザと新型コロナウイルス感染予防

インフルエンザと新型コロナウイルスの違いを表にしてみました。

	インフルエンザ	新型コロナウイルス
潜伏期間（感染してから症状が出るまでの期間）	2～5日	1～14日
感染経路	飛沫・接触	飛沫・接触・エアロゾル
主症状	高熱・関節痛や倦怠感など全身症状	発熱・咽頭痛・咳
熱の出方	高熱	平熱～高熱
進行の仕方	急激	約１週間後に急変することもある
ワクチンの有無	有	有
治療方法	抗インフルエンザ薬	対症療法

インフルエンザもコロナウイルスも感染性の呼吸器の病気です。感染対策はどちらもほぼ変わりません。特に年末年始は普段と異なる環境や人との接触が増えますので、流行に備えてワクチンの接種と手洗いと消毒、適切なマスクの着用、定期的な換気を心がけましょう。

三田わくわく村
看護師　大和屋　志保

トライやるウイークを受けて（上野台中学校）

志手原事業所に上野台中学校から４名の方が来られました。初めて社会に出ることは勿論、障害福祉について学ぶ機会であり、緊張されているのがとても伝わってきました。
内容としてはパンの製造および製菓品の納品を経験してもらい、利用者さんがどのようにして働いているのか、生産したものがどこで売られているのか商品の流通について知っていただきました。

今回の経験を基に働くときに障害福祉も視野に入れていただけたらと思います。

三田わくわく村志手原事業所
所長補佐　小田　和晃

兵庫県立高等特別支援学校の生徒のみなさん いつもありがとうございます

三田わくわく村大原事業所の前にある兵庫県立高等特別支援学校の学生さんたちにわくわく村の花壇や畑作りのお手伝いをして頂いています。
春は花壇を耕し夏の花の苗を植え、秋には生活介護で作っている畑に白菜の苗を植えて頂きました。
出来た野菜は給食で使用したり野菜購入を希望されている利用者さんに買って頂いています。

畑の除草作業中

生活介護の利用者さんと一緒に白菜の苗を植えました

風 後援会からご入会のお願い

社会福祉法人風後援会は、知的障害者の自立と三田わくわく村の発展を願って平成７年に発足し、寄付活動や理解啓発活動を進めています。
毎年皆様のご入会（ご寄付）により、送迎車両の購入や雨よけ上屋の整備など、利用者の皆さんの活動環境整備を進めています。
今後、一層活動の輪が広がりますよう本会の趣旨にご賛同いただき、ご入会賜りますようよろしくお願い申し上げます。
また、事業所等のみなさん方にもご支援いただきたく賛助会員の入会をお願いしています。

個人年会費　1口 1,000円
事業所等賛助会費　1口 3,000円　振込先は下表のとおりです

金融機関	支店名	口座番号
ゆうちょ銀行		01110-3-66308
三井住友銀行	三田支店（店番 391）	普通 3808145
三井住友銀行	ウッディタウン出張所（店番 395）	普通 3120072

名義は全て『社会福祉法人風後援会』です
【お問い合わせ】
「風」後援会事務局　三田わくわく村大原事業所内
〒669-1515　三田市大原梅ノ木 1546-5
☎079-564-0909

新規職員紹介

大原事業所・生活介護

はじめまして。
足立と申します。自分の命を障害者支援に使い成長していきます。よろしくお願いいたします。

足立　宗晴

本町事業所

11月より本町事業所で勤務することになりました仙石です。
日々先輩方や利用者の皆様に学ばせていただいております。一生懸命支援に努めてまいります。よろしくお願いいたします。

仙石　美穂

これからの予定

1/11(水)　二十歳のお祝い会
4/3(月)　入所式

※対象利用者の在籍する事業所ごとで行います。

令和５年　1月号　わくわく通信　91号

わくわく通信

発行　社会福祉法人　風
障害福祉サービス（多機能型）
三田わくわく村

〒669-1515　三田市大原 1546-5
(TEL)079-564-0909
(FAX)079-564-8500
(e-mail) sanda.wakuwakumura@giga.ocn.ne.jp
(Hp アドレス)http:/sandawakuwakumura.com/

おめでとうございます

版画制作
倉鋪　博正

皆様におかれましては　新春を清々しいお気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。
昨年は、ロシアのウクライナ侵攻や、サッカーワールドカップの熱戦など大きな出来事がありました。
私たち施設では、新型コロナウイルス感染への対応に終始した１年でしたが、重症者も出なく無事乗り越えることが出来ました。
また、懸案でありました志手原事業所の市有地については、三田市との協議の結果、減額による賃貸借で契約が整いました。多くの皆様方のご支援ご協力に心より感謝申し上げます。
さて、法人風は「ひとりひとりが安心して暮らせる温もりのある社会」をめざして、利用者のみなさんの安全で安心な暮らしと、施設で働く職員のみなさんの生活を守ると共に、社会貢献という大きな使命を背負っています。
こうした法人の責務を果たすため、理事会や評議員会の組織強化を進め、職員と一丸となって取り組んでまいります。
新型コロナウイルス感染も四年目に入りますが、利用者の皆さんの命を第一に考えながら、感染対策を徹底して徐々に活動の場を広げ、社会との交流の機会を増やしてまいりたいと思います。
本年も、引続き多くの皆様方のご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

志手原土地賃貸借契約の締結

社会福祉法人風
理事長　西田　孝夫

新しい一年が皆様にとって幸多き年となりますよう、お祈り申し上げます。
さて、12月12日に行われた事業所別保護者会に出席し、スライドショーを観させていただきました。
日常の活動の様子、イベントの様子、外出活動の様子が上映され、ウルフルズの曲『ええねん』をBGMに、利用者さんのさまざまなシーンが流れました。なんと！！
その『ええねん』は施設長がわくわく村バージョンに替え歌を作り、支援員の池本さんが歌ってくださっていたのです。歌と映像がすばらしくマッチしていて、笑いと感動の涙で会場は温かな空気に包まれました。活動の中で利用者さんがありのままでイキイキと過ごせるようにしていきたいとお話しがあり、そのお言葉にも感動しました。
今後も利用者の皆さんがイキイキと過ごせるよう、保護者会と施設が協力し合いながら歩んで行きたいと思っております。

三田わくわく村保護者会
会長　梅木　江里子

社会福祉法人風後援会会長の古田と申します。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。
昨年もコロナウイルス感染状況が続いていた為、風後援会としての活動は、ほぼできませんでした。
本年もコロナウイルス感染は終息するとは思いませんが、国、県や三田市の考え方にあるように社会活動の行動制限はしないという方針であります。
当後援会としましても、この状況の中で会員の皆様のお力添えをいただき出来る範囲で、行事やイベント等の開催を実施して参りたいと考えています。
これからも障害を持つ人達の暮らしや生活を守っていく為に後援会が三田わくわく村の応援団として取り組んで参りますのでご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人風後援会
会長　古田　茂充

うさぎのようにピョンと跳ね飛躍の年に!!

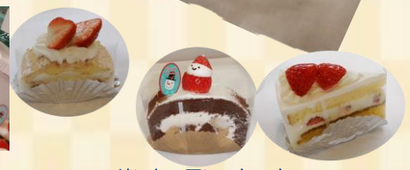
今年も利用者の皆さん　職員の皆さん共に　いい年となりますように！！！

令和４年も新型コロナウィルスとの「戦」いの１年となりました。わくわく村においても、３月末に感染を確認すると徐々に拡大したため、大原事業所を１週間休所しました。また７月頃に全国的に感染が拡大したこともあり、一泊研修旅行や秋祭り、クリスマス会が今年度も中止となる寂しい１年となりました。しかし、12月16日は保護者会の協力を頂き、昼食にはサント・アンのクリスマスショートケーキを３種類の中から選択して食べたり、マックカードやポロラルフローレンのハンドタオルが入ったプレゼントを贈りました。

昨年の世相を表す漢字として「戦」が選ばれました。ウクライナへの侵攻や円安・物価高・電力不足、感染症など生活の中で起きている身近な「戦」、そして、サッカーW杯や北京五輪の熱い「戦」、メジャーリーグや日本野球界での記録への挑「戦」などに関心が集まりました。暗いニュースが多い中で、スポーツによって多くの方が勇気や元気を頂いたと思います。

クリスマスプレゼント

３種類の中から選びました



サント・アンのケーキ

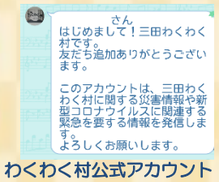
わくわく村は昨年開設25周年の節目の年でもありました。記念にポストカードを作成しわくわく村を応援頂いている関係者や利用者の皆さんに感謝を込めて贈りました。

次の50年、100年に向け、先人たちの想いである新しい風を感じることが出来るよう、理事役員を増員すると共に、評議員会や監事監査のけん制機能の強化など、「第３期中期運営計画」の着実な推進に取り組んで参りました。

25周年ポストカード

抽選景品のわくわく村製菓

更に、災害時などの緊急連絡については、ホームページを活用していましたが、LINE アカウントにより新型コロナウィルス感染者の確認情報や緊急連絡などを配信し、家庭での予防が迅速に対応できるようSNSの充実を図っているところです。



わくわく村公式アカウント

わくわく村では毎年４月に新規利用者をお迎えしています。しかし、就職や家庭の事情等で退所される方もおり、ここ数年の利用者数は120名前後と増加していません。また、新型コロナウィルスの影響などもあり、利用率についても減少傾向で、事業活動等における収支差額は減少しています。

今後は健全財政の堅持に向けて、それぞれの事業において専門性を高め、先進的な取り組みを進めることで、多くの皆さんに選んでいただける魅力ある事業所をめざしてまいります。

また、高齢化に向けた取り組みとして日中活動の内容を試行的に取り組んでいます。併せて、「介護」や「障害」といった枠組みにとらわれず、多様化・複雑化している福祉ニーズに臨機応変に対応し、地域共生社会を推進し、人口減少にあっても地域の実情に応じたサービスが提供できるように共生型サービスについて具体的に検討して行きます。また、感染症や大規模自然災害などの発生に対して、業務を中断させないようにすると共に中断した場合でも早期に業務を継続するための方針や体制等を示した事業継続計画（BCP）を令和６年度までに策定します。

2021 年東京オリンピック・パラリンピックのトライアスロンに出場された宮城県気仙沼市出身の谷（旧姓　佐藤）真海さんは、早稲田大学在学中に右膝下を骨肉腫のため切断されました。谷さんは『私は目標を決め、それを超えることに喜びを感じ、新しい自信が生まれました。そして、なにより大切なことは、失ったものより、今あるものを大事にするということを学びました』と話されています。私たちは失ったものにとらわれがちです。しかし、どんなことが起こったとしても、自分が持っているものを信じること、そんな強さを身につけたいものです。そういった強い気持ちを持ち仕事に従事することで、基本理念にある利用者一人ひとりが尊厳を持ち、地域社会の中で輝き、その人らしい自立した生活の実現に近づき、多様性のある共生社会の実現に向かっていくのだと思います。

今後とも多くの皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

三田わくわく村
施設長　奥　貞晴

令和５年　1月号　わくわく通信　91号

兎年を迎えて　（各事業所の抱負と年男・年女紹介）

大原

笑顔の絶えない、自分らしく過ごす事ができる居場所作りを目指します。コロナ対策をしながら、たくさん新しい経験が出来るよう計画したいと思います。頑張るぞ！！

志手原

B型は全員が製菓作業に従事できるよう人材育成と生産アップを目指します。

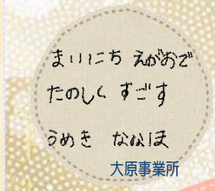
移行は一人一人の強みを活かして就職できるよう取り組んでいきます。

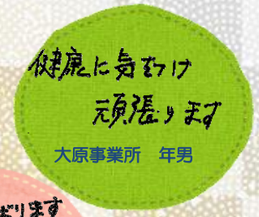
本町

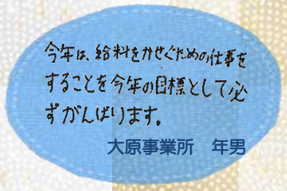
利用者さん一人ひとりの平均工賃の向上と、新しい作業にチャレンジする機会を提供することをテーマに、ぴょんぴょんとステップアップを目指します。

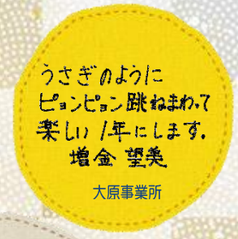
すずかけ台

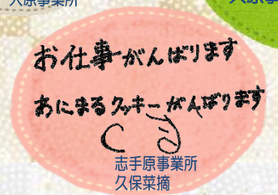
職員同士の縦と横の連携を重視しつつ、気を引き締めて業務と向き合うことで、その通りだったねと言える充実した１年になるよう 全員で頑張って参りたいと思います。

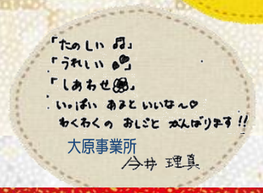












祝20歳おめでとう!

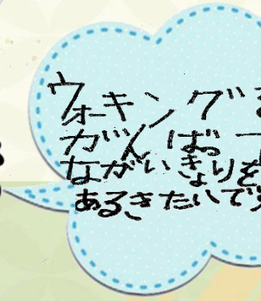
輝かしい新春とともに今年は４名のみなさんが2023年に二十歳を迎えられます。

本年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各事業所でお祝い会を１月11日(水)に開催いたします。

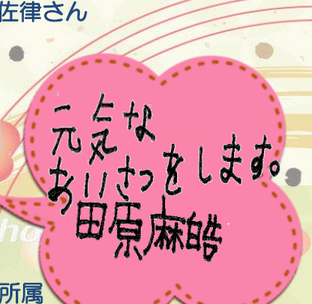
二十歳の皆様おめでとうございます。

すずかけ台事業所
自立訓練所属
石川　裕大さん

大原事業所・生活介護所属
徳山　佐律さん



すずかけ台事業所・Ａさん



すずかけ台事業所・自立訓練所属
田原　麻皓さん